

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	校内練習船実習（機関）	
科目基礎情報							
科目番号		5A18		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		実験・実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		商船学科		対象学年		4	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		はじめでの船上英会話：商船高専海事英語研究会編（海文堂）弓削丸完成図書、実習の手引き、実習ファイル、その他配布書類等					
担当教員		松永 直也,山下 訓史					
到達目標							
航海・機関に関する運航技術の基礎訓練を他の授業の進捗度合いに合わせて行い、船内生活を体験し船舶職員としての資質を涵養し、国際的な船員を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	機関当直	機関当直の概要を理解している。		機関当直の概要の理解が曖昧。		機関当直の概要を理解していない。	
評価項目2	機関管理	機関管理の概要を理解している。		機関管理の概要の理解が曖昧。		機関管理の概要を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
専門 A2 専門 E1 専門 E2							
教育方法等							
概要		練習船の運航実習を通じ、主機・発電機・その他各機器の正常運転状態を体得する。班編成を行い実習効果をあげる。十分に周りの危険に注意を払い緊張感をもって実習に取り組むこと。					
授業の進め方・方法		練習船を運航し、航海実習を行う。実習内容に応じて班編成を行い実習効果をあげる。単位認定試験を実施する。養成施設引当て科目（単位）：機関コース【出力装置(0.3),補機(0.1),当直・保安(0.1),環境汚染防止(0.1),損傷制御(0.1),乗組員の管理(0.1)】					
注意点		危険を伴う実習のため指定された服装を厳守のこと。（学則遵守） 実習前および実習中の体調管理に留意すること。					
実務経験のある教員による授業科目							
この科目は、商船における操船・機関・運航業務を担当していた教員が、その経験を活かし、航海学と機関学に関する技術について実験実習形式で授業を行う。							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	実習のガイダンス・当直実習		チェックリスト巡回監視ができる		
		2週	機関管理 当直実習		チェックリスト巡回監視ができる		
		3週	応急運転法		応急運転法を理解する		
		4週	機関管理 当直実習		指圧図撮取法を修得する		
		5週	機関管理 当直実習		指圧図撮取法を修得する		
		6週	機関管理 当直実習		指圧図撮取法を修得する		
		7週	機関管理 当直実習		推進効率算定法を修得する		
		8週	機関管理 当直実習		推進効率算定法を修得する		
	2ndQ	9週	機関管理 当直実習		熱効率算定法を修得する		
		10週	機関管理 当直実習		熱効率算定法を修得する		
		11週	当直実習		チェックリスト巡回監視ができる		
		12週	当直実習		チェックリスト巡回監視ができる		
		13週	当直実習		チェックリスト巡回監視ができる		
		14週	危急ビルジ排出法		機関室浸水時の応急処置を理解する		
		15週	危急ビルジ排出法		機関室浸水時の応急処置を理解する		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					

		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	20	0	40	0	0	100
基礎的能力	40	20	0	40	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0